



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 デンヨー株式会社

上場取引所 東

コード番号 6517 URL <http://www.denyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白鳥 昌一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門長 (氏名) 兎澤 俊哉

TEL 03-6861-1111

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,552	14.4	799	33.6	740	5.9	417	9.1
2019年3月期第1四半期	11,847	12.0	598	62.1	698	70.0	458	117.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 563百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 635百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	19.91	
2019年3月期第1四半期	21.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	73,754	56,331	73.4
2019年3月期	74,085	56,290	73.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 54,160百万円 2019年3月期 54,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		22.00	42.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		22.00		22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,500	4.9	1,800	25.4	1,900	14.6	1,200	8.4	57.26
通期	56,500	1.7	4,600	9.5	4,900	6.7	3,200	1.0	152.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	22,859,660 株	2019年3月期	22,859,660 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,899,901 株	2019年3月期	1,901,761 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	20,957,919 株	2019年3月期1Q	21,242,572 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載の業績予想には発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6
3. 補足情報	7
(1) 製品区分別の販売実績	7
(2) 地域別販売実績	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続し、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中東における地政学的リスクの高まりなどにより先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、首都圏の再開発工事やインフラ再整備工事など建設需要は堅調に推移し、また、近年相次いで発生した災害の影響もあり、停電などに対する防災意識の高まりも見られました。海外においては、米国市場の需要が引き続き好調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループといたしましては、各地で実機を用いた営業活動や生産体制の整備に注力してまいりました結果、売上高135億52百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益7億99百万円（同33.6%増）、経常利益7億40百万円（同5.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億17百万円（同9.1%減）となりました。なお、関連会社において滞留債権に対する貸倒引当金を計上したことから持分法による投資損失1億94百万円を計上しております。

セグメント別概況は次のとおりです。

(日 本)

日本では、国内向けは、堅調な建設需要を背景にレンタル市場向けに可搬形発電機の出荷が増加し、停電対策用の発電機の出荷も堅調に推移いたしました。海外向けは、米国向けに大型発電機の輸出が増加しましたことから、売上高90億83百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益1億85百万円（同15.8%増）となりました。

(アメリカ)

アメリカは、好調な景気を背景に建設需要が堅調に推移しており、主力のレンタル市場向けに発電機の出荷が増加しましたことから、売上高36億45百万円（同40.8%増）、営業利益3億13百万円（同8.5%増）となりました。

(アジア)

アジアは、インフラ整備工事向け発電機の出荷が減少しましたことから、売上高7億71百万円（同23.3%減）となりました。一方で、ベトナム工場の原価率改善もあり、営業利益1億30百万円（同25.2%増）となりました。

(欧 州)

欧州は、溶接機の出荷が減少しましたことから、売上高51百万円（同46.0%減）、営業利益1百万円（前年同期は5百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、491億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億97百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加3億61百万円や、電子記録債権の減少9億15百万円などによるものであります。

固定資産は、246億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億66百万円増加いたしました。これは主に、建設仮勘定の増加3億50百万円や、無形固定資産の増加2億90百万円、保有株式の評価替による投資有価証券の減少3億12百万円などによるものであります。

この結果、資産合計は、737億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億31百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債は、141億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億84百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少5億59百万円などによるものであります。

固定負債は、32億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億12百万円増加いたしました。これは主に、保有株式の評価替等による繰延税金負債の減少1億3百万円や、リース債務の増加3億3百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は、174億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億72百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産は、563億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上4億17百万円や、配当金の支払4億79百万円、その他の包括利益累計額の増加72百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント上昇し、73.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米国の通商政策の動向や中国経済の減速等が懸念されますが、国内の建設需要や防災対策に係る需要は堅調に推移し、米国市場も好調に推移するものと予想しております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、中期経営計画「Denyo2020」における2年目の各種施策を着実に実行し、業績の拡大を目指してまいります。

連結業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました予想から変更はしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,189	15,550
受取手形及び売掛金	19,250	18,742
電子記録債権	3,503	2,587
有価証券	999	999
商品及び製品	4,258	4,608
仕掛品	1,236	1,431
原材料及び貯蔵品	5,152	4,949
その他	263	286
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	49,849	49,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,303	7,239
機械装置及び運搬具(純額)	1,989	2,099
土地	4,834	4,836
建設仮勘定	101	451
その他(純額)	184	179
有形固定資産合計	14,414	14,805
無形固定資産	364	654
投資その他の資産		
投資有価証券	9,104	8,792
その他	358	355
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	9,457	9,142
固定資産合計	24,236	24,603
資産合計	74,085	73,754

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,296	8,736
電子記録債務	2,146	2,097
短期借入金	431	209
未払費用	670	1,589
未払法人税等	538	301
賞与引当金	636	370
役員賞与引当金	75	19
製品保証引当金	99	100
その他	728	713
流動負債合計	14,624	14,139
固定負債		
長期借入金	1,110	1,077
リース債務	0	304
繰延税金負債	1,323	1,219
退職給付に係る負債	432	418
その他	304	263
固定負債合計	3,170	3,283
負債合計	17,794	17,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,954	1,954
資本剰余金	1,779	1,779
利益剰余金	48,793	48,726
自己株式	△2,107	△2,106
株主資本合計	50,420	50,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,464	3,389
為替換算調整勘定	301	446
退職給付に係る調整累計額	△32	△30
その他の包括利益累計額合計	3,732	3,805
非支配株主持分	2,137	2,171
純資産合計	56,290	56,331
負債純資産合計	74,085	73,754

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	11,847	13,552
売上原価	9,111	10,562
売上総利益	2,735	2,990
販売費及び一般管理費	2,136	2,190
営業利益	598	799
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	77	83
受取家賃	20	19
為替差益	26	—
その他	5	77
営業外収益合計	136	191
営業外費用		
支払利息	8	12
売上割引	4	5
為替差損	—	34
持分法による投資損失	21	194
その他	2	4
営業外費用合計	36	251
経常利益	698	740
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	2	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	696	738
法人税、住民税及び事業税	300	333
法人税等調整額	△124	△61
法人税等合計	175	271
四半期純利益	521	466
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	458	417
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	49
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△253	△74
為替換算調整勘定	△907	169
退職給付に係る調整額	3	2
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	△1,156	96
四半期包括利益	△635	563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△585	489
非支配株主に係る四半期包括利益	△49	73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間の期首より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則全てのリースについて資産及び負債を認識しております。

IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従って、累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の無形固定資産が2億99百万円、固定負債のリース債務が3億3百万円それぞれ増加し、利益剰余金の当期首残高が3百万円減少しております。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	日本	アメリカ	アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,155	2,588	1,006	95	11,847	—	11,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,287	81	694	0	2,064	△2,064	—
計	9,443	2,670	1,701	96	13,912	△2,064	11,847
セグメント利益又はセグメント損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	159	289	104	△5	548	50	598

(注) セグメント利益又はセグメント損失の調整額には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	日本	アメリカ	アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,083	3,645	771	51	13,552	—	13,552
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,348	49	1,003	1	2,402	△2,402	—
計	10,431	3,695	1,775	53	15,954	△2,402	13,552
セグメント利益(営業利益)	185	313	130	1	630	168	799

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 製品区分別の販売実績

(単位：百万円)

製品区分の名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	増減	前期比 (%)
発電機関連	9,180	10,520	1,340	14.6
溶接機関連	1,229	1,216	△12	△1.0
コンプレッサ関連	236	263	27	11.7
その他	1,201	1,551	349	29.1
合計	11,847	13,552	1,705	14.4

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 地域別の販売実績

(単位：百万円)

地域の名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	増減	前期比 (%)
日本	6,422	7,267	845	13.2
アメリカ	3,458	4,584	1,125	32.5
アジア	1,496	1,292	△204	△13.6
その他	470	408	△61	△13.1
合計	11,847	13,552	1,705	14.4

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。